

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年 9月 22日

和泉市長 あて

団体名 和泉中学校区地域つながり会

代表者名 浅井 睦夫

所在地 和泉市黒鳥町1-6-5

電話番号 0725-43-0838

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	ながらみまもり 和泉中学校区
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	_____ 150,000 _____ 円 (うち、対象経費 _____ 150,000 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 75,000 _____ 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミチュウガッコウクチイキツナガリカイ		
団体名	和泉中学校区地域つながり会		
団体の目的	校区の子どもたちを見守り、信頼関係を深め寄り添っていく。		
市内事務所の所在地	〒594-0022 和泉市黒鳥町1-6-5 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <u>その他</u> （黒鳥小学校内）】		
	電 話	0725（43）0838	F A X 0725（46）3394
フリガナ	アサイ ムツオ		
代表者氏名	浅井 睦夫		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名）※		電 話 0725（43）0838
	フリガナ ██████████ ██████████		F A X ██████████
	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成24年 4月	主な活動地域	
会報等の発行	有（ 回発行） ・ <input checked="" type="radio"/>	会員数	50人
メールアドレス	██		
ホームページ	http://		
主な事業内容	地域防犯組織と連携した巡回活動		
主な活動の実績	地域つながり活動（毎月第3水曜日 19時～20時実施）		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去3年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）
	R3	和泉中学校区地域教育協議会 学校支援地域本部	90,000
	R4	//	90,000
	R5	//	90,000

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	ながらみまもり 和泉中学校区
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> テップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>少子化や核家族化、生活スタイルの多様化や情報化の進展など、子育て家庭とそれを取り巻く環境は複雑に変化している。学校・家庭・地域が一体となって校区の子どもたちを見守り、信頼関係を深め、寄り添いながら、地域ぐるみで育てていく必要がある。</p>	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>学校・家庭・地域が一体となって、校区の子どもたちの登下校時の状況を見守ることで、安全面を確保し、互いの信頼関係を深めることができる。同じマスク、エコバッグを着用、所持して見守りをするすることで、それが目印となり、子どもたちの安心感と見守る人たちの一体感につながる。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の散歩をしながら、ウォーキングをしながら、庭の掃除をしながらなど、何かをしながら、防犯、防災、交通安全などの面から児童・生徒の登下校や、校区内公園等の見守る活動を行う。</li> <li>・毎月第三水曜日に行われる、和泉中学校区地域つながり活動（夜回り）を実施し、地域内で活動している団体との連携・情報交換を定期的に行う。</li> </ul>	
②実施期間（日時）	学校課業日の登下校時間帯
③実施場所	和泉中学校区（国府小学校 伯太小学校 黒鳥小学校）
④主な対象者	和泉中学校区の保護者、教職員、各小学校区町会、青少年指導員、防犯委員、若頭会、子ども会
⑤参加予定者数	50名
⑥告知方法	各学校からのメール配信・プリント配付及び各町会掲示板での周知

5 事業スケジュール	
次期（月） 4月～3月	内容 学校課業日 <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の散歩をしながら、ウォーキングをしながら、庭の掃除をしながらなど、何かをしながら、防犯、防災、交通安全などの面から児童・生徒の登下校や、校区内公園等の見守り活動を行う。</li> <li>・毎月第三水曜日に行われる、和泉中学校区地域つながり活動（夜回り）に参加し、地域内で活動している団体との連携・情報交換を定期的に行う。</li> </ul>
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
①公益性	活動が子どもたちの安全確保につながり、また希薄になっている地域の人間関係をつなぐことができるという視点からも意義は大きいと考える。
②継続性	和泉中学校区地域教育協議会における地域つながり活動が約10年継続している。また各校PTAの賛同も得て人員及び予算の提供を受けている。
③実行性	犬の散歩、ウォーキング、庭の掃除などの普段の活動に子どもたちの見守りを加えるだけなので、誰でも容易に実践につなげることができる。したがって、子どもたちや地域への貢献にもつながりやすい。
④協働性	和泉中学校区内の保護者、教職員、各小学校区町会、青少年指導員、防犯委員、若頭会、子ども会とともに地域の子どもを見守り育てるという目標に向かって活動している。
⑤公開性	地域教育協議会の他の活動とともに、活動告知及び報告を「和泉中学校区ふれあい体験ニュース」という形で発行している（年2回）。イベント告知ポスターやニュースについては各町会の協力のもと掲示板に掲示され、各学校、幼稚園、保育園でも子どもたちを通じ、保護者にも配付し、活動参加の一助としている。
⑥発展性 （先駆性・展開性） （集客性）	地域の未来の宝である子どもを見守り育てることは地域一体となってこれからも継続し発展を続けていくものである。今後は学校課業日に限らず、外出する際はマスク、エコバッグを着用、所持して日常的な活動へと発展させていく。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： ながらみまもり 和泉中学校区

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	75,000	和泉市市民活動推進支援金
自主財源	75,000	各校PTAからの協力金 (18,750×4校)
合 計	150,000	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
消耗品費	120,000	コットンバッグ（400枚） ※和泉中学校区在住市民に配布
印刷製本費	10,000	連絡用印刷費（1枚2円×5000枚）
役務費	20,000	年間見守り活動に係る損害賠償保険
合 計	150,000	
対象経費	150,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書 追加資料

1 団体名	和泉中学校区地域つながり会
2 事業名	ながらみまもり 和泉中学校区
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> テップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。 年度末に行われる、和泉中学校区ふれあい体験協議会の総会に参加し、地域内で活動している団体との連携・情報交換を行い、今年度の事業について、反省点・課題・問題点について意見をもとめ、改善に向けて話し合う。
5	令和6年度事業において以下のことについて記入してください。 ・新たに取り組む事項 ・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項 ・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等
	犬の散歩、ウォーキング、庭の掃除などの普段の活動に子どもたちの見守りを加えるだけなので、誰でも容易に実践につなげることができる。また、同じマスク、エコバッグを着用、所持して見守りをするすることで、それが目印となり、子どもたちの安心感と見守る人たちの一体感につながる。所持する人が増えることで、見守る目も多くなり、子どもたちの安心感も増す。 外出する際にマスク、エコバッグを着用、所持するだけなので、学校課業日に限らず、日常的な活動へと発展が見込める。

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。